



公開授業の様子



風の子保育園の校舎



お店屋さんたちの様子



社会福祉法人光風会幼保連携型認定こども園 風の子保育園

風の子保育園は2020年度から2年間、金銭教育研究校の委嘱を受け、園児たちの金銭教育に取り組みました。経済活動について組み通して園児は「お金」を学ぶことは「お金を通して自分やまわりの人々の幸せを考えることである」と考え、実社会での生き力を培つてほしいと願いながら保育に努めています。

主にパワーポイントを使って、「お金ってなあ」「」「経済ってなあに?」などのテーマごとに説明を行いました。園児たちは、実際に日本と外国の硬貨に触れ、色やデザインを興味深く見比べたり、買物や食事など普段の生活も経済活動の一部だとこうことを知つて驚いていました。また、これまで園児が学んできたSDGsの考え方つながる部分もあるため、有意義な学習になりました。さらに、コロナ禍のため対面とオンラインの両方を組み合わせたハイブリッド形式での公開授業を開催し、講師のあんびるえっこ先生の貴重なご講演やゲーム形式の学びは得難い経験となり、園外の方々にも幼児の金銭教育について、広く関心を持つていただけ機会となりました。

主にパワーポイントを使って、「お金ってなあ」「」「経済ってなあに?」などのテーマごとに説明を行いました。園児たちは、実際に日本と外国の硬貨に触れ、色やデザインを興味深く見比べたり、買物や食事など普段の生活も経済活動の一部だとこうことを知つて驚いていました。また、これまで園児が学んできたSDGsの考え方つながる部分もあるため、有意義な学習になりました。さらに、コロナ禍のため対面とオンラインの両方を組み合わせたハイブリッド形式での公開授業を開催し、講師のあんびるえっこ先生の貴重なご講演やゲーム形式の学びは得難い経験となり、園外の方々にも幼児の金銭教育について、広く関心を持つていただけ機会となりました。

以前より、自分たちで商品やお金などを制作し、生産者や消費者の立場を知るお店屋さんたちの取組みなどを通して園児は「お金」に触れていましたが、今回の学びにより、お金とは「モノを売ったり買つたりするために必要なもの」に由来、お金の営みや暮らしを動かすもの、様々な可能性に満ちた夢のあるもの」に理解が深まりました。学習のなかで難しい内容や言葉も出てきますが、日々の生活のなかからもお金についての情報を吸収し、興味を持って学ぶ姿も見られるようになりました。

そして、幼児の金銭教育に取り組むことで、保育教諭自身の金融に関する知識・意識も高まり、共に学び考える場面が増えました。園児たちにとって、いつも親しみでいる保育教諭が応答的態度で教え、共感的態度で学ぶことは、園児一人ひとりの情緒を安定させ、安心できる環境で好奇心や探求心を發揮するのにむつながっています。お金についての正しい知識を園児に伝えていくため、これからもさらに研鑽を積んでいきたいと考えています。